



2024年3月期 第3四半期決算短信(日本基準)(連結)

2024年2月14日

上場会社名 日本甜菜製糖株式会社
コード番号 2108 URL <https://www.nitten.co.jp/>
代表者 (役職名) 代表取締役社長
問合せ先責任者 (役職名) 法務室長
四半期報告書提出予定日 2024年2月14日
配当支払開始予定日
四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無
四半期決算説明会開催の有無 : 無

上場取引所 東
TEL 03-6414-5527

(百万円未満切捨て)

1. 2024年3月期第3四半期の連結業績(2023年4月1日～2023年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2024年3月期第3四半期	51,423	7.3	349	19.6	1,206	31.0	785	32.9
2023年3月期第3四半期	47,943	14.5	434	64.8	920	48.7	591	13.6

(注) 包括利益 2024年3月期第3四半期 3,249百万円 (244.5%) 2023年3月期第3四半期 943百万円 (526.7%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
2024年3月期第3四半期	59.76	
2023年3月期第3四半期	43.83	

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2024年3月期第3四半期	112,976	69,941	61.9	5,403.48
2023年3月期	103,149	68,134	66.1	5,102.17

(参考) 自己資本 2024年3月期第3四半期 69,941百万円 2023年3月期 68,134百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2023年3月期				50.00	50.00
2024年3月期					
2024年3月期(予想)				55.00	55.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 有

2024年3月期(予想) 期末配当金の内訳 普通配当 50円00銭 特別配当 5円00銭

(注) 配当予想の修正につきましては、本日(2024年2月14日)公表いたしました「配当予想の修正(特別配当の実施)に関するお知らせ」をご覧ください。

3. 2024年3月期の連結業績予想(2023年4月1日～2024年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	69,000	6.1	500	66.8	1,400	29.8	1,400	11.1	106.49

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 有

(注) 連結業績予想の修正につきましては、本日(2024年2月14日)公表いたしました「業績予想の修正及び特別利益(投資有価証券売却益)の計上に関するお知らせ」をご覧ください。

注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 有

(注)詳細は、添付資料8ページ「2. 四半期連結財務諸表及び主な注記(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)」をご覧ください。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無

以外の会計方針の変更 : 無

会計上の見積りの変更 : 無

修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)

2024年3月期3Q	15,325,642 株	2023年3月期	15,325,642 株
------------	--------------	----------	--------------

期末自己株式数

2024年3月期3Q	2,381,929 株	2023年3月期	1,971,718 株
------------	-------------	----------	-------------

期中平均株式数(四半期累計)

2024年3月期3Q	13,147,199 株	2023年3月期3Q	13,487,634 株
------------	--------------	------------	--------------

四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

なお、業績予想に関する事項につきましては、添付資料3ページ「1. 当四半期決算に関する定性的情報(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第3四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第3四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	8
(継続企業の前提に関する注記)	8
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	8
(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)	8
(セグメント情報等)	8

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間(2023年4月1日～2023年12月31日)におけるわが国経済は、インバウンド需要の回復等により経済活動が正常化へ向かう一方、海外景気の下振れや中東地域をめぐる情勢、国内の物価上昇等により、先行き不透明な状況が続いております。

このような状況のもと、当社グループでは、第2次日甜グループ中期経営計画(2023年4月～2028年3月)を策定し、「持続可能なてん菜産業の創造にチャレンジし、安全・安心で幸せな社会の実現に貢献していく」を掲げるとともに、資本コストや株価を意識した経営の実現に向けて、企業価値の一層の向上に取り組んでおります。

また、DM三井製糖ホールディングス株式会社との資本業務提携の一環として、2023年10月から、同社の連結子会社である北海道糖業株式会社が集荷する原料の一部を芽室製糖所へ搬入し、砂糖等の製造を受託しております。

当第3四半期連結累計期間の売上高は、主に砂糖事業の売上の増加により、前年同期比7.3%増の51,423百万円となり、経常利益は、受取配当金の増加等により、前年同期比31.0%増の1,206百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は、前年同期比32.9%増の785百万円となりました。

事業別の概況は、次のとおりであります。

<砂糖事業>

砂糖事業の売上高は、菓子、外食向け等の需要回復に加え、販売価格の上昇もあって、前年同期比11.4%増の36,095百万円となりましたが、昨年の猛暑等により原料となるてん菜が著しく低糖分となったことに加え、エネルギーコストの高止まりの影響もあり、509百万円の営業損失(前年同期は520百万円の営業損失)となりました。

<食品事業>

食品事業の売上高は、イースト等の売上増加により、前年同期比3.4%増の1,979百万円となり、営業利益は、適正価格での販売及びコスト削減に努めたことにより、前年同期比338.2%増の138百万円となりました。

<飼料事業>

飼料事業の売上高は、販売価格の上昇により、前年同期比0.8%増の9,309百万円となりましたが、エネルギーコストの高止まりの影響により、84百万円の営業損失(前年同期は113百万円の営業利益)となりました。

<農業資材事業>

農業資材事業の売上高は、主にビート用移植機の売上減少等により、前年同期比15.3%減の2,003百万円となり、35百万円の営業利益(前年同期は5百万円の営業損失)となりました。

<不動産事業>

不動産事業は、一部賃貸物件の稼働率低下により、売上高は前年同期比3.5%減の1,098百万円となり、営業利益は前年同期比4.7%減の692百万円となりました。

<その他の事業>

その他の事業の売上高は、スポーツレジャー施設等の売上回復により、前年同期比4.3%増の938百万円となりましたが、営業利益は、貨物輸送の減少等により、前年同期比6.3%減の109百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比9,826百万円増の112,976百万円で、このうち流動資産は、主に棚卸資産の増加により前連結会計年度末比5,460百万円増の62,514百万円となり、固定資産は、主に投資有価証券の時価の上昇により前連結会計年度末比4,366百万円増の50,461百万円となりました。

一方、負債の合計は、前連結会計年度末比8,019百万円増の43,035百万円で、このうち流動負債は、主にその他に含まれる原価差額の増加により前連結会計年度末比7,149百万円増の32,874百万円となり、固

定負債は、主にその他に含まれる繰延税金負債の増加により前連結会計年度末比 870 百万円増の 10,161 百万円となりました。

純資産は、主にその他有価証券評価差額金の増加により前連結会計年度末比 1,807 百万円増の 69,941 百万円となりました。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

2024年3月期の業績予想につきましては、2023年11月10日に公表いたしました2024年3月期連結業績予想を修正しております。詳細につきましては、本日(2024年2月14日)公表いたしました「業績予想の修正及び特別利益(投資有価証券売却益)の計上に関するお知らせ」をご参照ください。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	4,589	4,811
受取手形及び売掛金	8,537	7,464
電子記録債権	228	428
有価証券	6,000	5,700
商品及び製品	29,667	20,740
仕掛品	483	5,253
原材料及び貯蔵品	5,746	9,971
その他	1,808	8,150
貸倒引当金	△6	△6
流動資産合計	57,054	62,514
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	11,423	11,521
その他（純額）	12,987	13,641
有形固定資産合計	24,411	25,162
無形固定資産	513	525
投資その他の資産		
投資有価証券	19,527	23,153
退職給付に係る資産	1,481	1,495
その他	163	125
貸倒引当金	△1	△1
投資その他の資産合計	21,169	24,773
固定資産合計	46,094	50,461
資産合計	103,149	112,976

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2023年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (2023年12月31日)
負債の部		
流動負債		
買掛金	1,180	4,168
短期借入金	18,637	16,611
未払法人税等	100	76
その他	5,806	12,017
流動負債合計	25,724	32,874
固定負債		
長期借入金	119	61
役員退職慰労引当金	12	17
退職給付に係る負債	4,090	4,017
その他	5,068	6,065
固定負債合計	9,290	10,161
負債合計	35,015	43,035
純資産の部		
株主資本		
資本金	8,279	8,279
資本剰余金	8,413	8,413
利益剰余金	45,521	45,638
自己株式	△3,739	△4,514
株主資本合計	58,473	57,817
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	9,182	11,700
繰延ヘッジ損益	△2	△7
退職給付に係る調整累計額	480	431
その他の包括利益累計額合計	9,660	12,123
純資産合計	68,134	69,941
負債純資産合計	103,149	112,976

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
売上高	47,943	51,423
売上原価	37,432	41,307
売上総利益	10,511	10,115
販売費及び一般管理費		
販売費	7,809	7,365
一般管理費	2,266	2,401
販売費及び一般管理費合計	10,076	9,766
営業利益	434	349
営業外収益		
受取利息	0	0
受取配当金	609	895
持分法による投資利益	15	25
その他	60	67
営業外収益合計	685	989
営業外費用		
支払利息	78	69
固定資産処分損	84	36
その他	35	26
営業外費用合計	198	132
経常利益	920	1,206
特別利益		
投資有価証券売却益	3	32
補助金収入	-	404
特別利益合計	3	437
特別損失		
固定資産処分損	46	25
固定資産圧縮損	-	403
特別損失合計	46	429
税金等調整前四半期純利益	878	1,214
法人税等	287	428
四半期純利益	591	785
親会社株主に帰属する四半期純利益	591	785

四半期連結包括利益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 2022年4月1日 至 2022年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 2023年4月1日 至 2023年12月31日)
四半期純利益	591	785
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	385	2,517
繰延ヘッジ損益	△16	△5
退職給付に係る調整額	△17	△49
その他の包括利益合計	351	2,463
四半期包括利益	943	3,249
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	943	3,249
非支配株主に係る四半期包括利益	-	-

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項
(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、2023年5月12日開催の取締役会決議に基づき、自己株式418,200株の取得を行いました。この結果、単元未満株式の買取りによる取得も含めて自己株式が791百万円増加しました。

また、2023年7月20日開催の取締役会決議に基づき、譲渡制限付株式報酬として自己株式8,900株の処分を行い、当該株式の処分により自己株式が16百万円減少しました。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末において、自己株式が4,514百万円となっております。

(四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用)

①原価差異の繰延処理

操業度等の季節的な変動に起因して発生した原価差異につきましては、原価計算期間末までにはほぼ解消が見込まれるため、当該原価差異を流動資産（その他）及び流動負債（その他）として繰延べております。

②税金費用の計算

当連結会計年度の税引前当期純利益に対する税効果会計適用後の実効税率を合理的に見積り、税引前四半期純利益に当該見積実効税率を乗じて計算する方法を採用しております。

ただし、当該見積実効税率を用いて税金費用を計算すると著しく合理性を欠く結果となる場合には、法定実効税率を使用する方法によっております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第3四半期連結累計期間（自 2022年4月1日 至 2022年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	32,392	1,914	9,235	2,363	1,137	47,043	900	47,943
セグメント間の内部 売上高又は振替高	180	24	11	4	93	313	4,957	5,271
計	32,573	1,938	9,246	2,367	1,231	47,357	5,857	53,215
セグメント利益 又は損失(△)	△520	31	113	△5	727	346	117	463

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	346
「その他」の区分の利益又は損失(△)	117
セグメント間取引消去	△30
その他の調整額	1
四半期連結損益計算書の営業利益	434

II 当第3四半期連結累計期間（自 2023年4月1日 至 2023年12月31日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：百万円)

	報告セグメント						その他 (注)	合計
	砂糖	食品	飼料	農業資材	不動産	計		
売上高								
外部顧客への売上高	36,095	1,979	9,309	2,003	1,098	50,485	938	51,423
セグメント間の内部 売上高又は振替高	102	25	12	0	93	234	4,736	4,971
計	36,198	2,005	9,321	2,003	1,191	50,719	5,675	56,395
セグメント利益 又は損失 (△)	△509	138	△84	35	692	272	109	381

(注) 「その他」の区分は報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、貨物輸送、石油類の販売及びスポーツ施設・書店の営業等を含んでおります。

2. 報告セグメントの利益又は損失の金額の合計額と四半期連結損益計算書計上額との差額及び当該差額の主な内容（差異調整に関する事項）

(単位：百万円)

利益	金額
報告セグメント計	272
「その他」の区分の利益又は損失 (△)	109
セグメント間取引消去	△33
その他の調整額	0
四半期連結損益計算書の営業利益	349

3. 報告セグメントの変更等に関する事項

(事業セグメントの利益（又は損失）の測定方法の変更)

「その他」の区分のセグメント間の内部売上高又は振替高は、実際の取引総額に基づいた金額により集計しておりましたが、第1四半期連結会計期間より、セグメント間の取引規模をより正確に表示するために取引実態に基づいた金額により集計する方法に変更しております。

この変更に伴い、従来の方法に比べ、当第3四半期連結累計期間の「その他」の区分のセグメント間の内部売上高又は振替高が5,937百万円減少しております。また、セグメント利益（又は損失）に与える影響はありません。

なお、前第3四半期連結累計期間のセグメント情報は、変更後の測定方法に基づき作成したものを開示しております。